



備 都 第 6 2 号
平成 19 年 4 月 20 日

国土交通省道路局長 殿

備前市長 西岡 憲 康



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について(回答)

平成 19 年 4 月 2 日付、国道企第 114 号を持って依頼のあった標記のことについて別添のとおり回答いたしますのでよろしくお取り計らい願います。

1. 今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

(1) 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

本市においては、合併により広大な市域となり、また、市域の約 80 パーセントを山林が占めるといった地理的な条件から自動車交通への依存度が極めて高いため、各地域間の連携を図り、通勤、通院、通学、買い物などの日常の暮らしを支える生活幹線道路の整備。また、市街地においては、地域住民が安全・安心して快適な生活が送れる道路整備、交通安全施設の整備。

(2) 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

市域が広大で山地率が高いため、非常に整備コストが高くつく傾向にあるため、工法検討や新技術の活用などコスト縮減に努める。また、現在行っている道路管理のためのボランティア活動を住民がもっと積極的に参画できるような環境整備を図る。

(3) その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

本市においては、JR線が複数市域を東西に走り、市街地を南北に分割することとなっており、市街地間の連結は踏み切りに頼らざるを得ないが、道路幅員に比べ踏み切りの幅員が狭小な箇所が多く見られるため安全・安心のまちづくりの観点からの踏み切り改良。